SONY®

ビデオ

ベータマックス

Betaplus

楽しみをプラスしていく発展ビデオ〈ベータプラス〉。ビデオTVコマンダー付属、クリーンスチル、ステップスロー搭載のニュータイプも登場。ビデオを始めるなら、この1台。

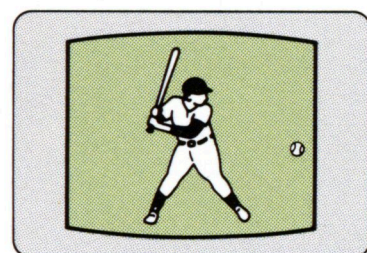
ベータプラス60 SL-HFR60 ¥158,000
ビデオTVコマンダーRMT-123付属

ベータプラス30 SL-HFR30 ¥137,000
ワイヤレスリモコンRMT-119付属

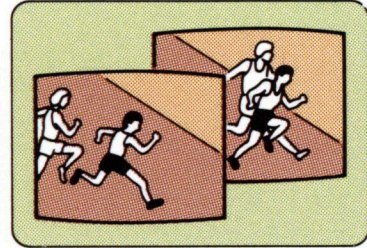
ハイファイプロセッサー HFP-100 ¥49,800

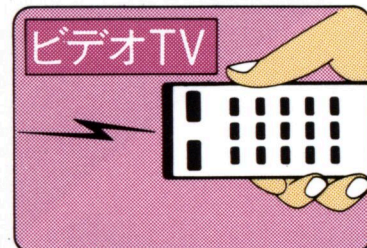
簡単だから面白い、発展するから夢が

ベータハイファイステレオ端子

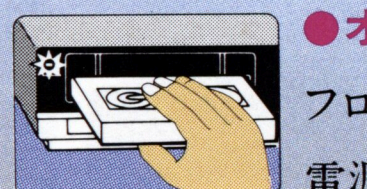
別売りのハイファイプロセッサーHFP-100を接続すると、ステレオビデオに発展。美しい映像とともにHi-Fiサウンドが楽しめます。

クリーン・スチル

DA(ダブルアジマス)ヘッドの採用で、ブレやノイズの少ない美しい静止画(スチル)再生が楽しめます。スポーツなどの決定的シーンをピタリと止めて見たり、ニュースのテロップや料理の献立表などを読んだり、メモしたりするときにも便利です。

●マイルドシルバー

コマ送り・ステップスロー

クリーン・スチル(静止画)の状態で再生ボタンを押すと、1コマずつ送って見ることができ、そのまま押し続けるとステップスロー(連続コマ送り)になります。野球のクロスプレイなど、決定的瞬間で活用しましょう。

ビデオTVコマンダー付属

ビデオはもちろん、テレビ(ソニーの🅁マーク付き)にも共通に使える便利なリモコンです。ねころんだままでも、ビデオとテレビを独立して操作できます。

●7日間6プログラム 7日間に6プログラムまで予約できる録画タイマーを内蔵。旅行や出張でも、見たい番組を逃しません。タイマーセットも点滅表示に従えば簡単です。

●オートパワーオン カセットテープをフロントから差し込むだけで、自動的に電源が入る親切設計。ビデオの操作がよりスピーディになります。

スペースをとらないスリムな8㎝ビデオ。
美しい静止画再生もコマ送りも自由自在。
ビデオとテレビの両方に使える
ユニークなビデオTVコマンダーもついた。
簡単操作、映像プレイ充実の〈ベータプラス60〉。
あとでハイファイが楽しみたくなったら、
ステレオ機能をプラスできる。
ベータムービーもすぐに楽しめる。
買ったあとから、楽しみをプラスできる。
これからビデオは、このタイプです。

ベータプラス60 🅁 新発売

SL-HFR60 ¥158,000

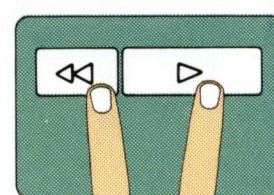
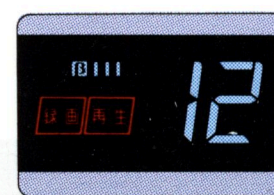
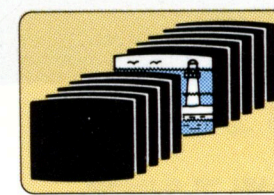
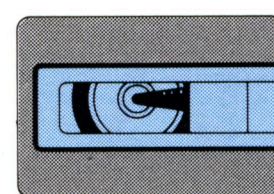
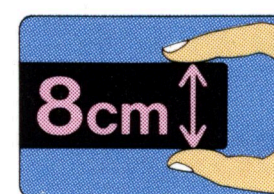
ボディカラーはマイルドシルバー(S)、ブラック(B)●外形寸法:幅430×高さ80×奥行365㎜●重量:8.1kg●消費電力:36W

ある。これからのビデオ、ベータプラス。

画面の写真はハメコミ合成です。

plus

ブラックトリニトロンKV-14GR1
¥64,800

●**クイックタイマー**　ボタンを押すごとに、30分単位で最高5時間まで録画時間をセットでき、そのまま録画がスタート。セット時間を過ぎると停止し電源が切れます。急に用時ができたり、そのまま眠ってしまいたいときに便利です。

●**オートプレイ**　巻戻しボタン◁◁を押しながら再生ボタン▷を押すと、巻戻し終了後、自動的に再生がスタートします。

●**大型マルチディスプレイ**　テープカウンター、チャンネル表示、予約プログラムナンバー、タイマー状況など多彩な情報を、大きく集中表示します。

●**高速アクセス機能(FRピクチャーサーチ)**　早送り・巻戻し中(約40倍速)でも、ボタンを押すだけで、約15倍速で画像が見られます。探し見に便利。

●**トップウィンドー**　本体上部の透明なウィンドーから、カセットテープの走行状態やテープ残量がひと目で確認できます。

●**8cmビデオ**　高さ8cmの薄型ビデオです。幅も43cmとオーディオサイズ。ラックにもスッポリ入り、システムアップが容易です。

●**オートゼロストップ**　巻戻しをすると、テープカウンターが「0000」のところでストップ。もう一度録画再生したい箇所に戻すのに便利です。

●**オートゼロプレイ**　巻戻しが、カウンター「0000」のところでストップ。そのまま自動的に再生がスタートします。同じ箇所をくり返して見たいときに便利です。

●**オートイジェクト**　ツメの折れているテープを入れて録画しようとすると、自動的にイジェクトされる安心設計。

●**ダンシングライト**　テープの走行方向やスピードを、光の点滅で表示します。

●**シャープネスボリューム**　再生画質をシャープからソフトに変えられます。

●**リニアカウンター**　2秒で1カウント表示。未記録の部分はカウントしないので、録画終了箇所を探し出すのに便利です。

●**タイマー表示**　明/暗切換えスイッチ付き。

※ピクチャーサーチや高速アクセスの画像には、数本の横縞が出ます。
※ステップスロー(連続コマ送り)中は、画像にノイズが出ます。

これは便利だ。
1つのリモコンで、
ビデオとテレビをらくらく操作。

ビデオTVコマンダー(RMT-123)付属
(ソニーの R マーク付きテレビと共通に使えます)

〈ビデオ操作〉
- 電源ON/OFF
- 録画・再生・早送り・巻戻し・停止
- アップダウン選局
- ダイレクト選局
- 高速アクセス・ピクチャーサーチ
- 静止画・コマ送り・ステップスロー

〈テレビ操作〉
- 電源ON/OFF
- ビデオ・テレビ切換
- アップダウン選局
- ダイレクト選局
- 音量調節
- 画面表示
- スリープタイマー

●ブラック

ハイファイプロセッサーをプラス。ベースステップを踏んで発展できるビデオ。

プラスHi-fi

ビデオはやっぱりハイファイがいい、となったら、
ハイファイプロセッサーをプラスしましょう。

（ベータハイファイステレオ端子付き）

ベータプラスに

ハイファイプロセッサーを組むと

ベータハイファイ(((ステレオ)))ビデオに早変わり

ベータプラスの〈ベータハイファイステレオ端子〉に接続すると、ステレオビデオに早変わり。PCMに迫る高音質のベータハイファイが楽しめます。
（ベータハイファイステレオ端子のないビデオには接続できません。）

〈Beta hi-fi時の音声特性〉●周波数特性：20Hz〜20kHz ●ダイナミックレンジ：80dB以上 ●ワウ・フラッター：0.005％以下（測定限界以下）

●〈ベータハイファイ録画・再生〉テレビのステレオ放送や2カ国語放送の録画・再生が、ベータハイファイの素晴らしいサウンドで楽しめます。
※ステレオ音声外部入力端子のついていないテレビでは、音声はモノラルになります。

●〈ベータハイファイソフトの再生〉ベータハイファイ方式で録画された市販のソフトテープが再生できます。ベータハイファイソフトは、映画や音楽まで多種多様。いま続々と登場しています。

●〈最高5時間のFMエアチェック〉FMチューナーと組めば、連続5時間の丸録り（βIIIモード・L-830タイプ使用）が可能。エアチェック用マスターデッキとして使えます。

●〈サイマルキャスト録音〉テレビの録画・録音（従来トラック）とFM放送の録音（ハイファイトラック）が同時にできます。

●〈ヘッドホン端子付き〉音声多重のないテレビでも、ヘッドホンの接続でステレオ放送や2カ国語放送が楽しめます。ヘッドホンボリューム付き。
※ベータプラスにハイファイプロフェッサーを組んだベータハイファイ方式で録画したテープは、従来方式のビデオでモノラル音声で再生できます。従来方式のビデオで記録されたテープは、ベータプラス＋ハイファイプロセッサーでは、ステレオの場合はモノラル音声で、二重音声は主副音声が同時に再生されます。

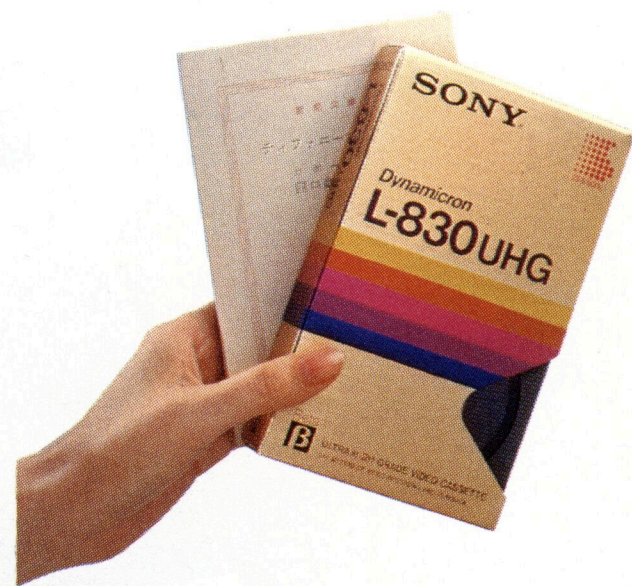
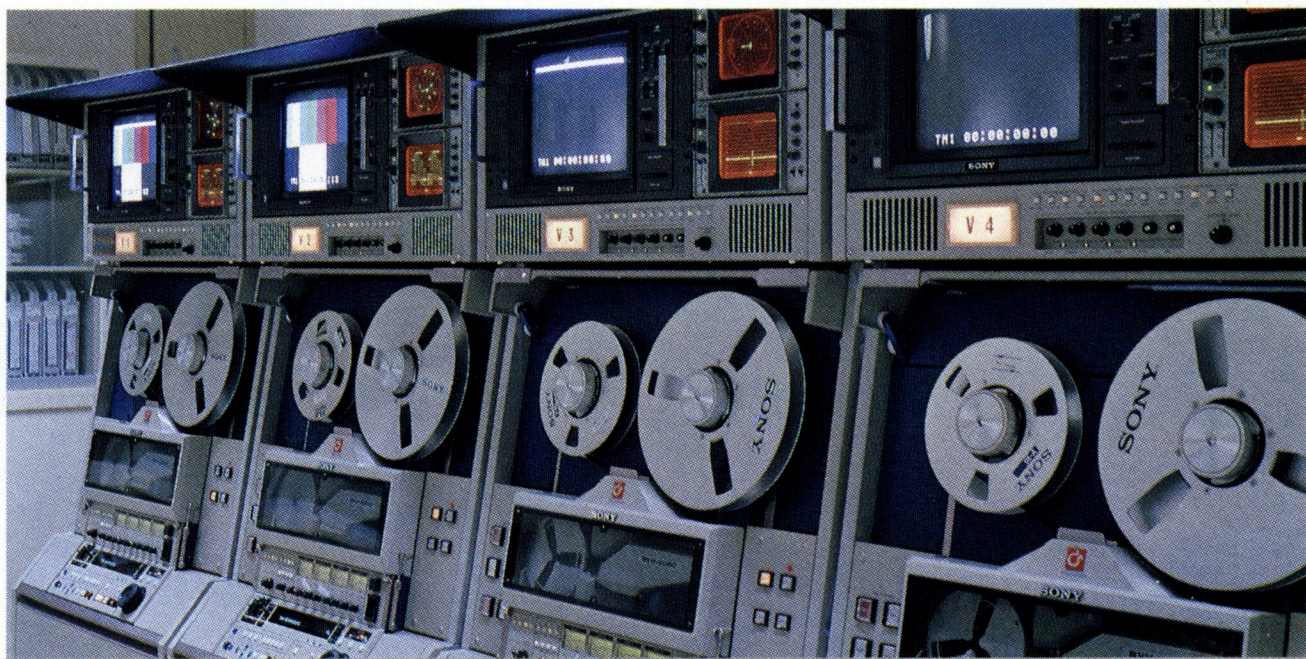
ハイファイプロセッサー
HFP-100 ¥49,800 新発売
外形寸法：幅430×高さ45×奥行350mm、重量：4.5kg、消費電力：16W

ベータ方式のすぐれた基本設計が、発展ビデオ"ベータプラス"を生み出した。

放送局から家庭まで、ビデオを発展させ、楽しみを広げるのは、ベータマックス。

放送局は、いわば映像のプロ集団。ここで使われるVTR機器には、常に最高の性能が要求されます。それに応えてきたのはソニーです。番組づくりに活躍する1インチVTR、Ωシステム、¾インチUマチック、そしてニュース取材用一体型VTRベータカムをはじめ、その高度な技術が認められ、世界の放送局で使われています。ソニーは、放送局で培われたプロ技術を生かし、家庭用ビデオを発展させます。ビデオの新しい楽しみを広げるのは、ベータマックス。

放送局で使用されている
ソニーの業務用ビデオ機器

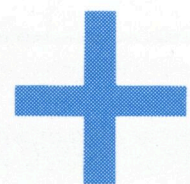
よりコンパクトに、高性能に。ベータマックスの基本設計思想です。

●文庫本サイズの「小さなカセット」
基本設計を初めから「小さなカセット」に決めたベータマックス。ビデオの小型化が進む未来にも対応する文庫本サイズ。小型・軽量の一体型

タムービーをプラス。ベータプラス。

ビデオの楽しさを知ってくると、望みも大きくなります。
やっぱりハイファイがいい。自分で撮って楽しみたい。
こんなときこそ、ベータプラスの発展性が生きてきます。
新しい楽しみを、あとからどんどんプラスしてください。

プラスMovie

自分で撮って楽しみたくなったら、
ベータムービーをプラスしましょう。

ベータプラスに

＋

Β方式のテープがそのまま使えます

ベータムービーを組むと

→

手軽に撮ってすぐ見られる

AF Auto Focus Betamovie BMC-200 新発売

〈ベータムービー〉は、今までと同じベータカセットテープが使えます。だから、撮ったテープはそのまま、〈ベータプラス〉で再生して楽しめます。

●〈最高3時間20分の長時間撮影〉ベータテープ1本で最高3時間20分の長時間撮影（ΒIIモード・L-830タイプ使用時）が楽しめます。

●低残像の鮮明画像が得られる〈1/2インチSMFトリニコン撮像管〉採用。

●迫力ある〈6倍電動ズームレンズ〉装備。接写もできる〈マクロ機構〉付。●ワンタッチで最適な色調整ができる〈オートホワイトバランス〉

●バッテリーパックNP-11(別売)¥6,500、ACアダプター/バッテリーチャージャーAC-M100(別売)¥19,500

オートフォーカス・ベータムービー BMC-200新発売

●新たに〈TCLデジタルオートフォーカシング機構〉を搭載。ピント合わせはカメラまかせで、だれでも簡単に撮れます。●マニュアルフォーカス(手動)で撮影中、瞬時にオートフォーカスにできる〈クイックフォーカス機構〉搭載。

AF Auto Focus

新発売

Betamovie BMC-200 ¥288,000

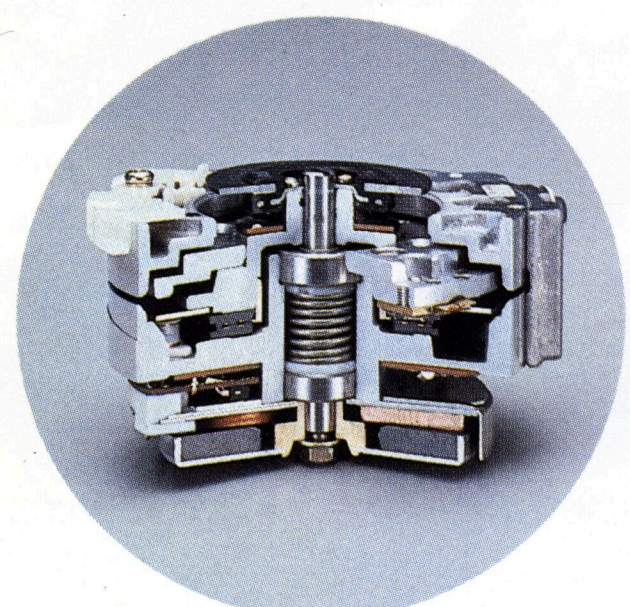
●外形寸法：幅126×高さ221×奥行359mm●重量：2.64kg（本体）

Betamovie BMC-100 ¥269,000

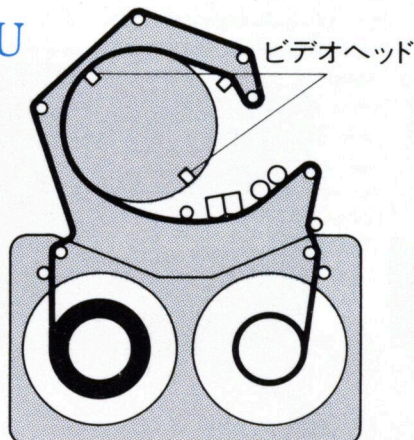
●外形寸法：幅125×高さ220×奥行361mm●重量：2.48kg（本体）

ビデオカメラ〈ベータムービー〉も、この小さなカセットから生まれました。

●画像がひときわ鮮明です。

ベータ方式では、直径74.5mmの大口径ヘッドドラムの採用によって、テープと回転ヘッドの相対速度7m/秒を実現。相対速度が速いからより多くの映像情報を処理でき、鮮明画像が得られます。

大口径ヘッドドラムの断面

●録りたいとき、見たいときに素早くスタートします。

ベータ方式のローデング方式は、精度の高い走行を実現した信頼のメカニズム〈Uローディング〉。いろいろなビデオプレイが素早くできるのが特長です。

●ビデオフレンドとのテープ交換も安心。

ベータ方式では、テープ走行がとてもなめらかで安定していますから、ベータマックスで録画したテープは、ベータ方式ならどのビデオでも安定画像で再生できます。

ベータプラスをあとからハイファイにできるわけ。

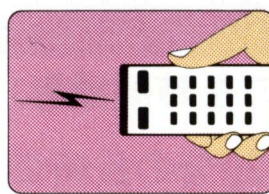
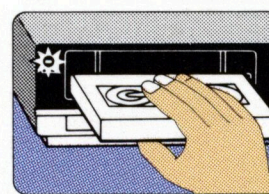
ベータプラスにハイファイプロセッサーをつなぐだけで、どうしてあの素晴しいサウンドを生む〈ベータハイファイ〉になるのでしょうか。その秘密は、ベータハイファイ方式の基本設計にあります。ベータハイファイは、従来のビデオの基本設計を変えずに、専用の電子回路技術だけで実現できるシステムです。だから、ベータプラスは従来のビデオとまったく変らぬ機能を持ちながら、新しい回路(ハイファイプロセッサー)をプラスするだけでステレオハイファイビデオに変えることができるのです。

たっぷり録画の簡単ビデオ。もちろん、

●シルバー(S)

Betaplus
発展ビデオ

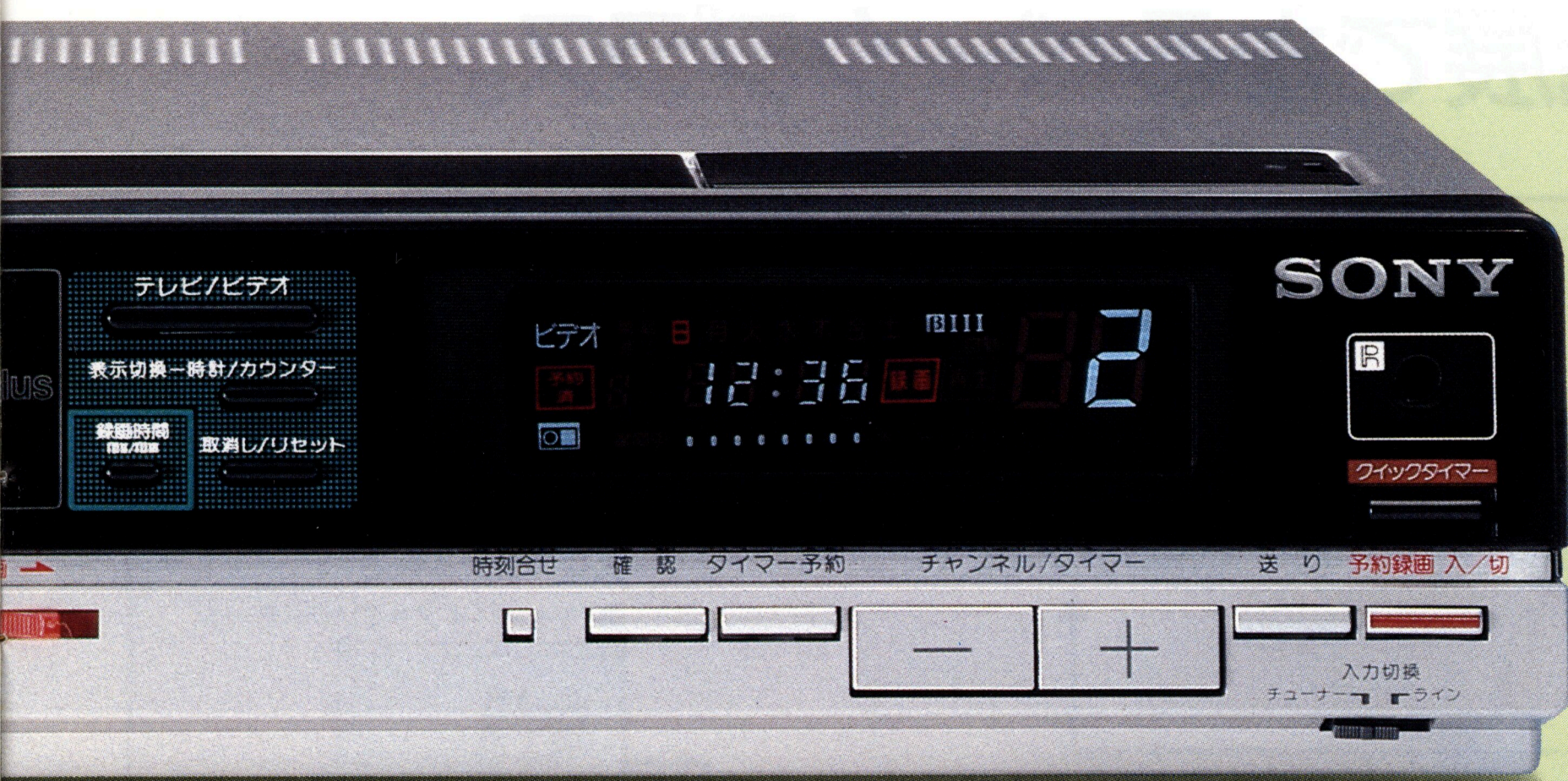
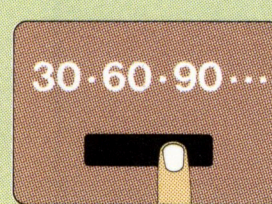
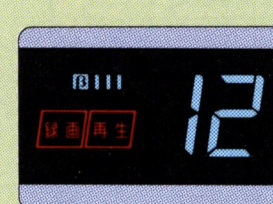
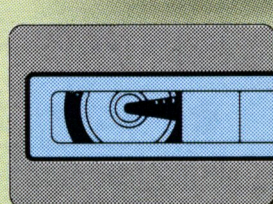
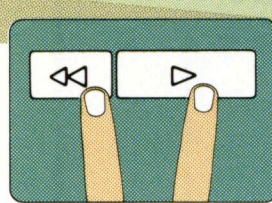
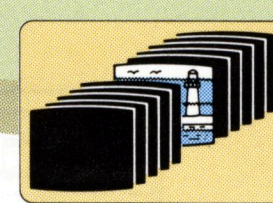
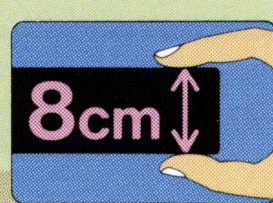
●ベータハイファイステレオ端子
ハイファイプロセッサーの接続でベータハイファイ・ステレオビデオに変身。ステレオ・音声多重が楽しめます。

●7日間6プログラム
7日間に6番組まで予約録画可能。大型マルチディスプレイの点滅表示に従って、簡単にタイマー予約できます。

●ワイヤレスリモコン付属
スライド式ワンタッチ録画、12ボタンによる直接選局など、多彩な操作を離れた場所から行えます。

●オートパワーオン
カセットテープをフロントから入れるだけで電源がON。ミスなくスムーズに操作できる親切設計。

Betaplus

●レッド(R)
●ブラック(B)

●ベータプラス30 SL-HFR30 ¥137,000●ハイファイプロセッサー HFR-100 ¥49,800●ベータムービー BMC-200 ¥288,000●ブラックトリニトロン・カラーテレビ KV-14GRI ¥64,800●ステレオヘッドホンMDR-CD7 ¥19,000●プリメインアンプ TA-V30 ¥39,000●FM/AMチューナー ST-V30 ¥30,000●ダブルカセットデッキ TC-W30 ¥59,800●スピーカーシステム APM-500 ¥17,500×2(2台1組)●レコードプレーヤー PS-FL77 ¥49,800●CDプレーヤー CDP-11S ¥115,000

あとでうれしいステレオ対応。

ワイヤレスリモコンRMT-119付属

●クイックタイマー　ボタンを押せば録画スタート、1回押す毎に30分単位で5時間まで録画可能。急の外出などに便利です。

●大型マルチディスプレイ　テープカウンター、チャンネル、予約ナンバー、タイマー状況、テープの有無・スピードなど、情報を集中表示。

●トップウィンドー　本体上部の透明なウィンドーから、カセットテープの走行状態やテープ残量がひと目で確認でき便利です。

●オートプレイ　巻戻しボタン◁◁を押しながら再生ボタン▷を押してセットすると、巻戻し終了後自動的に再生を開始。

●高速アクセス機能(FRピクチャーサーチ)　早送り・巻戻し中(約40倍速)の何も見えない画面に画像を出して、ピクチャーサーチ(探し見)できます。

●薄さ8cmビデオ　ラックにムリなく入り、置き場所を選ばない薄さ8cmのビデオ。幅も43cmとオーディオサイズです。

●オートゼロストップ　巻戻しが、カウンターゼロセット箇所でストップ。もう一度録画再生したい箇所に、テープを戻すのに便利です。

●オートゼロプレイ　巻戻し後、ゼロセット箇所から自動的に再生がスタート。もう一度その箇所からくり返して見たいとき便利です。

●オートイジェクト　ツメの折れているテープを入れて録画しようとすると、自動的にイジェクトされる親切設計。

●ダンシングライト　テープの走行方向・スピードを光で点滅表示します。

●シャープネスボリウム　再生画質をシャープからソフトに変えられます。

SL-HFR30 ¥137,000　新発売

ボディカラーは、シルバー(S)、ブラック(B)、レッド(R)●外形寸法：幅430×高さ80×奥行365mm●重量：8.0kg●消費電力：36W

機能比較

機　能	SL-HFR60	SL-HFR30
ベータハイファイステレオ端子	○	○
クリーン・スチル	○	—
コマ送り/ステップスロー(連続コマ送り)	○	—
ワイヤレスリモコン付属	○(ビデオTVコマンダー)	○
プログラムタイマー	○(7日間6プログラム)	○(7日間6プログラム)
クイックタイマー	○	○
高速アクセス(FRピクチャーサーチ)	○	○
ピクチャーサーチ	○	○
オートパワーオン	○	○
オートリワインド	○	○

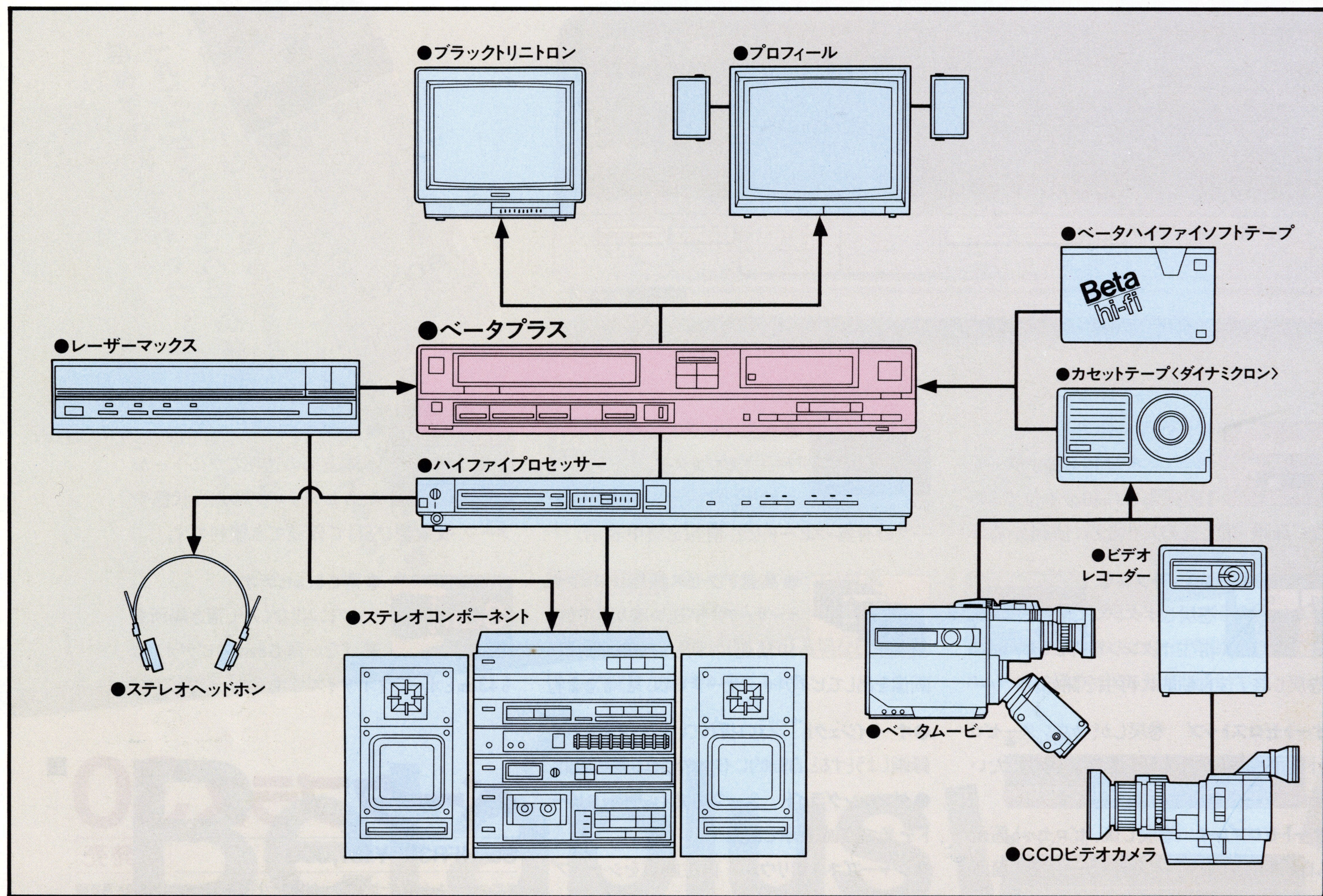
機　能	SL-HFR60	SL-HFR30
オートゼロストップ	○	○
オートゼロプレイ	○	○
オートイジェクト	○	○
大型マルチディスプレイ	○	○
トップウィンドー	○	○
ダンシングライト	○	○
シャープネスボリューム	○	○
リニアカウンター	○	○
明暗切換スイッチ付きタイマー表示	○	—

主な仕様　仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

【SL-HFR60/SL-HFR30】●録画方式：回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式**●映像信号**：NTSCカラー方式、EIA標準方式**●使用カセット**：βマークのついたビデオカセット**●テープ速度**：βIII 1.33cm/秒、βII 2.00cm/秒、βI 4.00cm/秒(再生のみ)**●最大録画・再生時間**(L-830タイプ使用時)：βIII 300分、βII 200分**●早送り・巻戻し時間**(L-500タイプ使用時)：約3分30秒**●音声周波数特性**：βIII 50Hz〜9kHz、βII 50Hz〜12kHz**●受信チャンネル**：VHF1〜12ch、UHF13〜62ch 12局プリセット**●アンテ入・出力端子**：VHF75ΩF型コネクター、UHF300Ω平衡型ねじ式ターミナル**●時計同期方式**：電源周波数同期型**●時刻表示**：24時間方式**●タイマーセット**：録画専用、7日間6プログラム**●映像入力**：ピンジャック(1)**●映像出力**：ピンジャック(1)**●音声入力**：ピンジャック(1)**●ライン音声出力**：ピンジャック(1)**●ベータハイファイステレオ端子●電源**：AC100V、50/60Hz**●消費電力**：36W**●最大外形寸法**：幅430×高さ80×奥行365mm**●重量**：〔HFR60〕8.1kg、〔HFR30〕8.0kg**●ワイヤレスリモコン付属**：〔HFR60〕RMT-123、〔HFR30〕RMT-119

【HFP-100】●録音方式：ベータハイファイ方式(2チャンネル、ステレオ/二重音声)**●音声周波数特性**：20〜20,000Hz(ハイファイプロセッサー接続、Beta hi-fi「入」時)**●ダイナミックレンジ**：80dB以上(ハイファイプロセッサー接続、Beta hi-fi「入」時)**●ワウ・フラッター**：0.005%RMS以下(ハイファイプロセッサー接続、Beta hi-fi「入」時)**●音声ライン入力**：ピンジャック(2)**●音声ライン出力**：ピンジャック(2)**●ヘッドホン出力**：標準ステレオジャック(1)**●電源**：AC100V、50/60Hz**●消費電力**：16W**●補助電源コンセント**：非連動1個、最大400Wまで**●最大外形寸法**：幅430×高さ45×奥行350mm**●重量**：4.5kg

まず、ベータプラスこれ1台で楽しもう。あとで、いろいろプラスを考える。お好みのシステムに発展できるベータプラス。

●ブラックトリニトロン
●プロフィール
●ベータハイファイソフトテープ
Beta hi-fi
●ベータプラス
●レーザーマックス
●カセットテープ<ダイナミクロン>
●ハイファイプロセッサー
●ビデオ
レコーダー
●ステレオコンポーネント
●ステレオヘッドホン
●ベータムービー
●CCDビデオカメラ

1巻1番組が理想的。色が違う、音が違う。ソニービデオテープ。

超微粒子
ダイナミクロン

ハードを知ってるソニーだから、ビデオテープも高画質・高音質。〝UHGシリーズ〞に〝HGシリーズ〞を加えて、お求めやすくなったダイナミクロン。

新発売	βIIIモード	βIIモード
L-125HG	45分	30分
L-165HG	1時間	40分
L-250HG	1時間30分	1時間
L-330HG	2時間	1時間20分
L-370HG	2時間15分	1時間30分
L-500HG	3時間	2時間
L-660HG	4時間	2時間40分
L-750HG	4時間30分	3時間
L-830HG	5時間	3時間20分

タイプ	βIIIモード	βIIモード
L-85UHG	30分	20分
L-125UHG	45分	30分
L-165UHG	1時間	40分
L-250UHG	1時間30分	1時間
L-330UHG	2時間	1時間20分
L-370UHG	2時間15分	1時間30分
L-500UHG	3時間	2時間
L-660UHG	4時間	2時間40分
L-750UHG	4時間30分	3時間
L-830UHG	5時間	3時間20分

Beta
β 小さなカセット、鮮明な画像。ビデオはベータ方式。

録画・再生について●このビデオはベータ方式のビデオです。βマークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。●βIIIモード(テープ速度1.33cm/秒)で録画したテープは、βIIモード(テープ速度2.00cm/秒)専用のビデオで再生できません。●このビデオで録画したテープはベータ方式の当社及び三洋、東芝、NEC、ゼネラル、アイワ、パイオニア(順不同)各社ビデオのβII/III各モード毎に相互に互換性があります。●ビデオカセットテープL-830、750タイプはβマークのついたビデオのうちΩマーク付でのみ使用可能。

●R:ワイヤレス・リモコン付属の機種●Rはビデオやオーディオ機器とのシステム展開を考慮した、ソニーの新しいリモコンです。●◎は(社)日本電子機械工業会が定めた音声多重のシンボルマークです。●あなたがテレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●このカタログに掲載されている商品の中で生産完了及び品切れになるものや、新発売商品が地域により品薄の場合もありますので、販売店におたしかめの上お選びください。●カタログと商品の実際の色とは印刷の関係で多少異なる場合もあります。
●お買い上げの際には 製造番号をご確認ください。

●この商品には保証書がついています。お求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとりください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
ショールーム 東 京／銀座数寄屋橋ソニービル
大 阪／南区心斎橋筋ソニータワー
お客様ご相談センター 東 京／(03)448-3311
大 阪／(06)251-5111
名古屋／(052)232-2611

このカタログの内容について、詳しくお知りになりたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様ご相談センターにお問合せください。

1984年7月印刷 EVMG-1 Printed in Japan. (84991980)

ソニー商品販売店

'84.7
カタログの記載内容：1984年7月現在